

参考資料 6 最高濃度検出井戸の汚染原因と対策等

項目	調査区分	濃度 (mg/L)	都道府県等	飲用の 有無	汚染原因	対策等
鉛	概況調査	0.055	千葉県 大網白里町	無	不明	町役場及び所轄保健所へ通報し、飲用指導を行うとともに、汚染井戸周辺地区調査を4本の井戸について実施した。1本(分析値0.007mg/L)で、検出されたが原因等は不明であった。残り3本(内一本を飲用)は不検出であった。平成14年度から当該地区において定期モニタリング調査を行い、汚染状況を継続して監視することとした。
	汚染井戸 周辺地区調査	0.044	埼玉県 八潮市	無	自然的要因と推定	井戸所有者に対して測定結果の通知及び使用方法の指導を実施済み。汚染状況の監視を継続していく。
	定期モニタ リング調査	0.24	大阪府 高槻市	無	事業場における鉛の不適切な 管理によるものと推定	飲用指導実施済み。事業場が平成11年度から地下水 浄化対策を開始、現在も継続中。調査結果は公表済 み。汚染状況の監視を継続。
六価クロム	汚染井戸 周辺地区調査	7.7	新潟県 上越市	無	事業場における六価クロム化合 物の不適切な管理等によるもの と推定	周辺地区調査実施済み。井戸所有者及び周辺住民へ 調査結果、地下水の使用方法を周知し、また調査結果 等については公表済み。汚染原因者は地下水揚水処 理を実施している。今後も適切な浄化対策の指導及び 定期モニタリング調査を行い汚染状況の監視を継続。
	定期モニタ リング調査	1.4	滋賀県 草津市	無	事業場における六価クロムの不 適切な管理によるもの	昭和51年に汚染が判明し周辺地区調査、周辺住民に 対する飲用停止等の指導、上水道への切り替え実施済 み。事業者が汚染土壌除去、地下水揚水処理を実施 済み。地下水揚水処理と汚染状況の監視を継続。

項目	調査区分	濃度 (mg/L)	都道府県等	飲用の 有無	汚染原因	対策等
砒素	概況調査	0.22	新潟県 長岡市	無	自然的要因と推定	周辺に飲用井戸がないことを確認済み。井戸所有者に対して測定結果の通知及び使用方法を指導済み。
	汚染井戸 周辺地区調査	0.24	新潟県 新潟市	無	自然的要因と推定	周辺に飲用井戸がないことを確認済み。井戸所有者に対して測定結果の通知及び使用方法を指導済み。市の公報等により周知。
	定期モニタ リング調査	0.34	滋賀県 米原町	無	自然的要因と推定	周辺地区調査を実施。井戸所有者に対しては使用方法を指導済み。汚染状況の監視を継続。
総水銀	概況調査	0.0072	福岡県 春日市	有	不明	当該地区は水道給水区域であり、当該井戸所有者には井戸水を飲用しないよう指導。当該井戸については再度水質調査を実施し、汚染井戸周辺地区調査を実施することとしている。
	汚染井戸 周辺地区調査	0.020	福岡県 福岡市	有	周辺では水銀を取扱う事業場はないが、土壌中から水銀蒸気 が検出されており、自然的要因と 推定	当該井戸の他29井戸で超過を確認。井戸所有者に対して、測定結果の通知及び使用方法を指導済み。周辺事業場調査を実施（水銀取扱い事業者なし）。
	定期モニタ リング調査	0.0049	沖縄県 石川市	無	不明	井戸所有者に対して測定結果の通知及び使用方法の指導を実施済み。周辺地区調査を実施済み。周辺地区の事業場等調査を行ったが、当該物質を製造・使用する工場等はなく、原因の特定には至っていない。汚染状況の監視を継続。
ジクロロメタン	概況調査	0.041	山形県 河北町	無	不明	当該物質を使用する事業場の井戸で検出されたものの、汚染井戸周辺地区調査では当該井戸を含め、全ての井戸で不検出。汚染状況の監視を継続。

項目	調査区分	濃度 (mg/L)	都道府県等	飲用の 有無	汚染原因	対策等
四塩化炭素	汚染井戸 周辺地区調査	1.8	福島県 三春町	有	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	町主催による地元説明会を開催し、井戸所有者は既に上水道に切替済み。推定汚染原因者に対して汚染原因究明及び浄化対策について指導し、現在対策を実施している。
	定期モニタ リング調査	0.53	千葉県 千葉市	無	複数の原因者による複合汚染	飲用指導、原因究明調査、浄化検討調査実施済み。13年度に浄化施設の設置工事(地下水揚水法)、14年度より地下水浄化を開始。汚染状況の監視を継続。
1,2-ジクロロ エタン	汚染井戸 周辺地区調査	0.012	青森県 八戸市	無	不明	汚染井戸周辺地区調査実施済み。井戸所有者に飲用指導を実施済み。今後も定期モニタリング調査による汚染状況の監視を継続する。
	定期モニタ リング調査	0.10	岩手県 胆沢町	無	不明	平成11年に汚染が判明し、井戸所有者に対し飲用しないよう指導するとともに周辺地下水の調査を行い汚染がないことを確認した。平成12年、13年と周辺地下水を調査した結果、すべて不検出であった。今後も継続して当該井戸及び周辺地下水のモニタリングを実施し、汚染状況を監視することとしている。
1,1-ジクロロ エチレン	汚染井戸 周辺地区調査	0.058	青森県 八戸市	無	不明	汚染井戸周辺地区調査実施済み。井戸所有者に飲用指導を実施済み。今後も定期モニタリング調査による汚染状況の監視を継続する。
	定期モニタ リング調査	2.5	大阪府 八尾市	無	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	市の広報等により周知。業者が汚染土壤の除去を実施済み。地下水の浄化を継続中。汚染状況の監視を継続。

項目	調査区分	濃度 (mg/L)	都道府県等	飲用の 有無	汚染原因	対策等
シス-1,2-ジクロ ロエチレン	概況調査	0.31	和歌山県 和歌山市	有	不明	井戸所有者に対して飲用指導済み。周辺地区調査を実施し、汚染井戸を把握済み。周辺に当該物質を使用した事業場はなく、汚染原因は特定不可。汚染状況の監視を継続。
	汚染井戸 周辺地区調査	1.3	新潟県 新発田市	無	事業場における揮発性有機化合物の不適切な管理によるものと推定	周辺地区調査、井戸所有者及び周辺住民へ調査結果、地下水の使用方法を周知済み。汚染原因者は、高濃度の汚染が判明した土壌を掘削除去した。平成14年度より定期モニタリング調査を行い汚染状況の監視を継続。
	定期モニタ リング調査	50	秋田県 本荘市	無	事業場における揮発性有機化合物の不適切な管理によるものと推定	周辺地区調査実施済み。県の指導により、原因者は地下水浄化対策(地下水揚水法)を強化。今後も適切な浄化対策を指導するとともに、定期モニタリング調査による汚染状況の監視を継続。
1,1,1-トリクロロ エタン	定期モニタ リング調査	180	大阪府 八尾市	無	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	市の広報等により周知。業者が汚染土壌の除去を実施済み。地下水の浄化を継続中。汚染状況の監視を継続。
1,1,2-トリクロロ エタン	汚染井戸 周辺地区調査	0.0095	福島県 白沢村	無	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	井戸所有者に対しては、測定結果を知らせるとともに飲用指導を実施。推定汚染原因者に対して浄化対策を指導し、現在対策を実施している。
	定期モニタ リング調査	0.067	大阪府 八尾市	無	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	市の広報等により周知。業者が汚染土壌の除去を実施済み。地下水の浄化を継続中。汚染状況の監視を継続。

項目	調査区分	濃度 (mg/L)	都道府県等	飲用の 有無	汚染原因	対策等
トリクロロ エチレン	概況調査	0.26	群馬県 館林市	無	不明	井戸所有者に対しては測定結果を知らせるとともに飲用指導を実施。汚染井戸周辺地区調査を実施。汚染状態の監視を継続。
	汚染井戸 周辺地区調査	0.15	福島県 白沢村	無	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	井戸所有者に対しては、測定結果を知らせるとともに飲用指導を実施。推定汚染原因者に対して浄化対策を指導し、現在対策を実施している。
	定期モニタ リング調査	160	秋田県 本荘市	無	事業場における揮発性有機化合物の不適切な管理によるものと推定	周辺地区調査実施済み。県の指導により、原因者は地下水浄化対策(地下水揚水法)を強化。今後も適切な浄化対策を指導するとともに、定期モニタリング調査による汚染状況の監視を継続。
テトラクロロ エチレン	概況調査	0.55	北海道 小樽市	無	不明	汚染井戸周辺地区調査実施。飲用指導実施済み。汚染状況の監視を継続。周辺に当該物質を使用している特定事業場があるが、汚染原因は不明。
	汚染井戸 周辺地区調査	3.7	福島県 白沢村	無	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	井戸所有者に対しては、測定結果を知らせるとともに飲用指導を実施。推定汚染原因者に対して浄化対策を指導し、現在対策を実施している。
	定期モニタ リング調査	10	大阪府 八尾市	無	事業場における揮発性有機化合物の過去における不適切な管理によるものと推定	市の広報等により周知。業者が汚染土壌の除去を実施済み。地下水の浄化を継続中。汚染状況の監視を継続。
ベンゼン	汚染井戸 周辺地区調査	0.15	千葉県 沼南町	無	不明	平成5年度の概況調査で、現環境基準(発見当時:旧評価基準)の超過を発見。当該井戸周辺18本の井戸からは、当該物質は検出されず、また表層汚染調査、テレビカメラによる井戸内部調査でも汚染源は特定できなかった。現在まで、当該井戸を含めた地区の水質調査を毎年行っているが当該井戸のみで検出している。
	定期モニタ リング調査	1.3	熊本県 熊本市	無	平成2年度に判明した給油所からのガソリン地下漏洩による汚染。原因事業場特定。	周辺調査実施。周辺住民の上水道切替え工事費を原因事業者が負担。平成3年度から市が揚水曝気による浄化対策を開始、今後も対策及び監視を継続。

項目	調査区分	濃度 (mg/L)	都道府県等	飲用の 有無	汚染原因	対策等
硝酸性窒素 及び亜硝酸 性窒素	概況調査	58	神奈川県 川崎市	無	不明	井戸所有者に測定結果を通知し、地下水の飲用指導等実施済み。汚染井戸周辺地区調査を実施済み。汚染状況の監視を継続。
	汚染井戸 周辺地区調査	93	北海道 端野町	無	不明	汚染井戸周辺地区調査実施。飲用指導実施済み。汚染状況の監視を継続。平成14年度汚染原因究明調査を実施中。
	定期モニタ リング調査	70	茨城県 新治村	無	不明	井戸所有者に測定結果を通知し、地下水を飲用しないよう指導済み。汚染井戸周辺地区調査を実施済み。汚染状況の監視を継続する。
ふっ素	概況調査	3.9	滋賀県 西浅井町	無	自然的要因と推定	周辺地区調査を実施。周辺住民に対し、周知するとともに飲用指導を実施。平成14年度から定期モニタリング調査で汚染状況の監視を行う。
	汚染井戸 周辺地区調査	7.7	愛媛県 松山市	無	自然的要因	既に周辺地区調査を実施済み。飲用不適である旨通知し、指導済み。(平成12年度超過地点である)
	定期モニタ リング調査	10	岐阜県 瑞浪市	無	自然的要因と推定	周辺地区調査、飲用指導実施済み。汚染状況の監視を継続。
ほう素	概況調査	4.7	大阪府 泉南市	無	海水や温泉水の混入等の自然的要因の汚染と推定	平成13年度に汚染井戸周辺地区調査を実施。汚染状況の監視を継続。
	汚染井戸 周辺地区調査	4.0	愛媛県 今治市	無	海水混入	周辺地区調査により海水混入と断定。飲用はしていない。
	定期モニタ リング調査	12	青森県 五所川原市	無	温泉であることから自然的要因と推定	所有者に対し、飲用に供しないように通知済み。